

## 福崎駅前活性化新拠点 「観光交流センター」オープン



新設の観光交流センターを背にテープカットに臨み、  
駅周辺整備事業の完了を祝う関係者ら＝JR福崎駅前

福崎町のJR播但線福崎駅前で6日、駅前観光交流センターがオープンした。町内に点在する妖怪人形の案内や特産のもちむぎ製品を販売するほか、共用オフィスも整備。乗降客の滞在消費を促し、にぎわいづくりにつなげる。

北隣のロータリーが今春に供用を始めており、センター開設で5カ年計画の駅周辺整備事業（総事業費約35億円）が完了する。

鉄骨2階建ての延べ約320平方メートル。狭くて暗かった駅前の印象を変えようと、前面をガラス張りにした。1階は14席の喫茶スペースでコーヒーやビールを販売。2階は共用オフィスとして貸し出すほか、秋祭りで集まる13台の屋台を見渡せるデッキも設けた。

神戸新聞社と一般社団法人ノオト（丹波篠山市）が共同出資するまちづくり会社「PAGE（ページ）」（福崎町）が指定管理者として運営する。

この日は記念式典があり、出席者は周辺整備に注

力しながら今年3月に急逝した橋本省三前町長をしのんだ。尾崎吉晴町長は「地域に活力を呼び込む起爆剤になってほしい」と期待した。  
(井上太郎)